

## 「こころざし育成 セミナー」開催

このセミナーは、医師を目指す中・高生に、医療の現場の見学・体験を通して、将来の医療を支える「こころざし」を育むことを目的として、静岡県主催により行われています。8月9日、当院では初めて開催されました。高校生1名、中学生2名の参加があり、院長のお話のほか、多職種職員の講話と施設見学を行いました。



## 新病院開設20周年 記念講演会を開催します



森町病院は、新病院を開設してから今年の3月で20周年を迎えました。その記念として、在宅ホスピス医としてご活躍されている内藤いづみ先生をお招きして講演会を開催することとなりました。

どなたでも参加できますので、お誘いあわせの上お越しください。

- 演題** ありがとうとさよならがいっしょになる時  
～在宅ホスピス医からのメッセージ～
- 講演者** ふじ内科クリニック院長 内藤いづみ先生
- 日時** 11月23日(木・祝) 13:30～16:00
- 場所** 森町文化会館 大ホール
- 問合せ先** 公立森町病院管理課 ☎85-2181

その他の記念事業として、下記事業も予定しております。

- 新病院開設20周年記念誌の作成  
12月発行予定
- ホームページのリニューアル  
12月リニューアル予定

## 11月14日は「世界糖尿病デー」です

この日は、インスリン発見者フレデリック・バンディングの誕生日です。世界に増え続ける糖尿病の予防・治療・療養についての啓発運動を喚起する日として世界各国で様々なイベントや主要な建物をブルーライトでライトアップしています。

当院では、糖尿病教室運営委員会メンバーが、糖尿病のことを多くの人に知ってもらおうと、糖尿病に関する情報を掲示する計画をしております。ぜひ、足を止めてご覧ください。

- 開催期間** 11月9日(木)～16日(木)
- 場所** 1階 外来フロア

# 春夏秋冬

## 基本理念

患者さまの人権を尊重し、心の通った医療を実践することで、地域と共にある病院を目指します。



森町病院のメンバー

9月9日(土)、静岡県自治体病院球技大会西部地区予選のサッカー競技が、森町営グラウンドで開催されました。今年は、当院と佐久間病院が合同で当番病院を担当しました。時折気持ちの良い秋風が吹く残暑の秋空のもと、大きなケガもなく楽しく終わった熱戦に、どのチームの選手も満足した様子でした。



## 公立森町病院

〒437-0214 静岡県周智郡森町草ヶ谷391-1  
TEL.(0538)85-2181 / 予約専用TEL.(0538)85-0270

ホームページアドレス <http://hospital.town.morimachi.shizuoka.jp/>

## 森町家庭医療クリニック

〒437-0214 静岡県周智郡草ヶ谷387-1 TEL:0538-85-1340

ホームページアドレス <http://www.morimachi-fc.com/>

## 夜間救急入り口に インターホンを設置しました

院内の安全確保のため夜間帯における不審者の侵入防止や盗難等の犯罪未然防止を目的として、夜間救急入口を施錠し、インターホンを設置しました。

夜間帯(22:00～翌朝5:30)に救急でご来院される患者様は、夜間救急入口に設置されたインターホンで呼び出してください。入口自動扉の施錠を解除します。

インターホンは↓の場所がございます。





# 「川柳大会」 を行いました

当院患者サービス向上委員会では、病院にかかわるすべての方が楽しめるイベントとして「第1回森町病院川柳大会」を行いました。

募集期間は、約1ヶ月と短い期間でしたが、患者さま及び職員から、74作品と予想を大幅に上回る応募をいただきました。テーマは、「自由題」とし、その成果が、入院の患者様からは、入院生活で感じた素直な気

持ちや、職員とのやり取りなど、元気に前向きにユーモラスに表現した作品が数多く寄せられました。また、職員については、5・7・5に苦戦しながらも日頃の思いを表現した作品が集まりました。

その楽しく個性あふれる作品の中から、委員会で厳正に選考を行いました。

今回は、中村院長の川柳に精通したご友人にも参加していただき、「たもん賞」として「天位」「地位」「人位」を選考していただきました。また「特別賞」として「中村院長賞」「患者サービス向上委員長賞」「患者サービス向上委員会賞」を選考しました。今回はそれらの受賞作品を紹介します。



中村院長賞

アンチより笑顔でスロー エージング

コメント

森町にあった良い川柳だと思いました。



患者サービス向上委員長賞

認知でも おふくろ寝言 本音言う

コメント

本音を聞いた家族が想像でき、ふと笑顔になる句として選びました。



患者サービス委員会賞

太り過ぎ メタボな医者が 何を言う

コメント

まさにその通り(笑)お互い健康には気をつけましょうね。



天位

初めてで とまどう自分が 恥ずかしい

コメント

どういう状況か、読む人それぞれに想像の余地があるところが良いと思いました。

人位

又来たね 看護師さんに ハイタッチ

コメント

病状があって通院するはずが、「ハイタッチ」がいかにも元気で、そのズレを、コミカルと評価しました

地位

先生に ほめられたくて つばをのむ

コメント

この作品もどういふ心身の状態で、想像の余地があり、かつ、患者さんの立場で可愛いところが良いと思いました。

人位

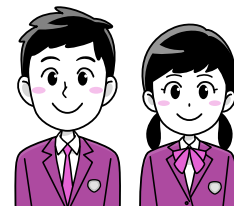
おだいに 笑顔で送る 夫婦道

コメント

職員の方は比較的まじめな作品が多く、選考に苦労しました(笑)このカテゴリは面白さより、職員(病院側)の「まなざし」の代表 職員のまなざしはこうだよ、という感じの優しさが良いと思いました。

「たもん賞」、「特別賞」以外の作品も素晴らしい作品でした。すべての作品を11月30日まで森町病院1階フロアに掲示してありますので、お寄りの際はぜひご覧ください。

## 中学生 職場体験



今年度は、7校(町内3校・町外4校)から職場体験の依頼がありました。病棟をはじめ、院内の各部署をまわり、見学・体験をしました。

将来の職業選択の参考になれば幸いです。



院内デイ「あんず」で患者さんとゲームを楽しむ様子(旭が丘中学校)



薬剤科での体験(森中学校)



ベッドでの患者移動(泉陽中学校)

平成29年度  
参加中学校

- 森町立森中学校2年生
- 森町立泉陽中学校2年生
- 森町立旭が丘中学校2年生
- 掛川市立原野谷中学校2・3年生
- 浜松市立春野中学校2年
- 袋井市立周南中学校2年生(予定)
- 袋井市立袋井中学校2年生(予定)